

芝浦工業大学

〒135-8548 東京都江東区豊洲3-7-5
入試・広報部入試課 TEL 03-5859-7100
https://www.shibaura-it.ac.jp/



芝浦工業大学

Shibaura Institute of Technology

(1) O-camp2027

大宮キャンパスは2027年の完成を目指して、再整備プロジェクト「O-CAMP 2027 (Omiya Campus Master Plan)」を進めている。ナラ枯れした林を整備した「芝生広場」(2023年)に続いて、2026年4月には「創発棟」が完成。多様な分野の学生や研究者が集い、交流し、協働することで新たなアイデアやイノベーションを生み出す「創発 (Emergence)」の場として利用されている。そして2027年には、第一体育館を解体した跡地に、新たなカフェテリア棟「O-BASE」が完成する予定。

(2) 女子高校生対象サマー・インターンシップ

女子生徒が研究室に配属され、担当教員や大学生、大学院生とともにテーマ設定から研究、発表まで行う。26年は17校から101人が参加した。

(3) 理工系女子特別入学者選抜

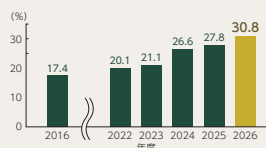
理工学分野に強い関心と学ぶ意欲を持ち、高校時代の数学と理科の成績、英語資格が一定以上の女子生徒が応募できる。工学部の先進国際課程を除く全学部・コースで実施される。

(4) 理工系女子支援奨学金

「理工系女子特別入学者選抜」による入学者全員と、一般入学者選抜で成績優秀な女子入学者(100人以上)を対象に入学金相当額(28万円)が支給される。

(5) 国内の工業大学初 入学者女子比率30.8%

日本国内の「工業大学」で、医療系学部や文系学部などを除き、工学系学部のみで集計。2011年に降存在する入学者統計データから、2025年度以前女子入学者30%を超えた工業大学はなし(アロー教育総合研究所調べ)。



(6) 国際プログラム

入学後に申請し、審議を経て国際プログラム生として認められる。1セメスター以上の海外留学が必須で、卒業に必要な単位の4分の1以上を英語開講科目で取得し、卒業研究を英語で行う。

(7) 先進国際課程

授業はすべて英語で開講され、入学時から指導教員と異なる専門分野から集結した多国籍のアドバイザー教員の指導のもと、最先端の研究に取り組む。研究成果は卒業までに1回以上、国際会議で発表することを目指している。

PICK UP

整備が進む豊洲、大宮両キャンパス／朝日に輝く奨学金



豊洲キャンパス



大宮キャンパス

■ 朝日に輝く奨学金

一都六県以外の出身で、一般入学者選抜において優秀な成績を収めた入学者に、1人あたり年間110万円を最大4年間給付する。優秀な人材が経済的理由により首都圏への進学を諦めることなく、実質国立大学並みの授業料負担で学修できるよう、本奨学金制度を整備するに至った。



女子が理工系を選びやすい環境を整える

03 グローバル理工系人材育成の推進

グローバル化への積極的な取り組みも芝浦工業大学の特長です。全世界約50カ国の国と地域から200校を超える海外提携大学と交流しており、多くの学生が留学し、また留学生の受け入れも積極的に行っています。

中でも、協定校に赴いて、あるいは協定校から学生を招いて、専門分野に関連したテーマでプロジェクトチームを組み、英語で議論しながら課題解決に取り組む「グローバルPBL」は全学で展開しており、年間80本ものプログラムが進行しています。また、17年度からシステム理工学部で実施されている「国際プログラム」や、20年度から工学部に設置された「先進国際課程」など学部独自の取り組みも進められ、グローバル理工系人材育成に向けた教育環境が

りに取り組んでいます。その結果、26年度の入学者に占める女子学生比率(学部生)は30.8%と、国内の工業大学では初めて^(注)30%を突破しました。女子生徒が理工系を自らの進路として選び、学び、社会で活躍できる環境を整えることを、理工系大学としての使命の一つと捉え、引き続きその実現に向けて取り組んでいきます。

04 全国トップクラスの「就職力」学生満足度も過去最高に

整備されています。

職力の強さでも、芝浦工業大学は全国トップクラスの実力を誇ります。今年7月に大学通信が公表した「有名企業400社実就職率ランキング」でも42.4%と、卒業生数1000人以上の私立大学で3位にランクイン。学部生・大学院生問わず、就職率は例年ほぼ100%を達成。とりわけ、理工系分野における女性人材の活躍への期待が高まる中、女子学生の就職率は3年連続で100%を達成しました。

こうした実績を支えるのが充実したキャリア支援です。入学時のアセスメントテストでの社会人基礎力診断による「自身の強み・弱みの把握」から始まり、年間100件を超える就活イベントを実施。そのほかにも、求人やインターンシップ、各企業の採用実績、先輩たちの選考体験談などを集約した独自の就活支援システム「OAST」によるサポート、常駐する専門のキャリアコンサルタントによる個別相談などにより、学生の進路満足度は90.7%、キャリア支援体制満足度も90.9%と過去最高の満足度を獲得しています。

100周年に向けた大学改革を推進。社会や地域に学び、世界に貢献するグローバル理工系人材を育成

やまだじゅん
山田純学長

1978年大阪星光学院高等学校卒業。1988年東京工業大学大学院理工学研究科博士課程中退。専門は熱工学、光工学。芝浦工業大学教授、同大工学部長などを経て2021年より現職。

SUMMARY

1927年創立の芝浦工業大学は、建学の精神である「社会に学び社会に貢献する技術者の育成」のもと、戦中・戦後の混乱期から日本の理工学教育を先導し、数多の優秀な技術者を輩出してきました。常に変化し続ける社会と向き合い、技術によって未来を担う人を創る教育は、産業界からも高く評価されています。

創立100周年を迎える2027年にアジアの工科系大学トップ10に入ることを目標に掲げ、大学改革に取り組んでいます。24年度の工学部の課程制への移行に続き、25年度にはデザイン工学部が3コース制へとリニューアル。26年度にはシステム理工学部も課程制に移行するなど、その歩みを進めています。

01 次なる100年に向け、教育研究環境の整備が進む

芝浦工業大学では、開学から約1世紀、2027年に迎える100周年に向けて、さまざまな改革が進められています。

これからの理工学教育に必要な要素として「分野融合・分野横断」を掲げ、24年度には工学部が従来の学科制から課程制へ移行。9学科1コースを6課程9コースに再編し、分野横断型の学びを促すカリキュラムへと生まれ変わりました。学生たちは、自らの専門分野を学びながら、自分の興味関心にもとづいて他分野も学ぶことができます。これにより、幅広い視野を身につけて自分の分野をさらに高めることが可能になります。

この分野融合の考え方はシステム理工学部にも展開され、26年度に課程制へと移行。従来の5学科6コースを5課程11コースに再編しました。

教育研究設備としては、26年4月に大宮キャンパスに「O号館 創発棟」が完成。2022年に政府が示した特定成長分野「デジタル・グリーン」(Metaverse)を拡充する研究施設、ラーニングcommons、地域に開かれた「地域健康増進センター」と産学官連携コナ、体育館やeスポーツ用の施設を整備しています。「多様な分野の学生や研究者が集い、交流し、協働することで新たなアイデアやイノベーションを生み出す」という新校舎に期待される機能や理念を表現した「創発」を、呼称に定めました。

この校舎は大宮キャンパスの再整備プロジェクト「O-CAMP 2027」の一環で建設したものです。

02 理工系女子の育成／国内工業大学で初、女子入学者比率30%突破

これまで日本の工学分野は、結果として男性が多数を占めてきました。これは「女性が理工系に向いていない」からではなく、進路選択の手前にある固定観念、無意識の偏見、ロールモデルの少なさ、高等学校段階での履修機会の偏りなどが重なり、女子生徒が理工系、とりわけ工学分野を進路として選びにくい構造が形成されてきたためと考えられます。理工系分野への女性進学促進は、国の政策課題であると同時に、産業界・地域社会・教育機関が共有すべき人材育成上の課題です。

芝浦工業大学も企業や高校と連携しながら、理工系分野で社会で活躍する女性を継続的に育成していくことが、日本社会にとって重要であると考えています。

こうした状況を踏まえ、芝浦工業大学は、女子が理工系を選びやすい環境を整えることを、理工系人材育成に関わる大学としての重要な課題として位置づけています。

芝浦工業大学では、まず理工系を学ぶ女子学生を増や、ロールモデルとなる卒業生を輩出することが重要であると考え、100周年を迎える27年度に「女子学生比率30%」という目標の実現に向けた取り組みを進めています。同大では、「女子向けミートアップキャンパス」の開催や、女子高校生向けサイト「SWITCH」での発信、研究室体験ができる「女子高校生対象サマー・インターンシップ」など、理工系分野に触れることができるさまざまな取り組みを行っています。また、入試では「理工系女子特別入学者選抜」を実施し、22年度に導入された「理工系女子支援奨学金」^(注)と合わせて、女子が理工系を選択し、挑戦しやすい環境づく